

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(756)8410
担当部課名	保健福祉部	陽光園	総務	班
事務事業名	陽光園維持補修費		事業コード	11320

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	安心して生活できる福祉社会を作ります	事業開始年度
基本施策名	第3節	障害者の自立支援と社会参加	~63 年度
施策名	第2施策	療育体制の整備と保育・療育の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
破損または故障等により、使用に支障を来す状態になった建物及びその従物である設備について、原状復帰を目的とした修繕を実施するものである。		陽光園本棟、療育相談棟及びこれらに附随する設備等	
		対象数	建物2棟 ほか
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・正面玄関ガラス交換修繕 109,200円 ・第一陽光園事務室床修繕 76,550円 ・第一陽光園自動ドア修繕 47,250円 ・第一陽光園女子トイレ洗面器具修繕 33,642円 ・療育相談棟冷温水機温度センサー交換 157,500円 ・療育相談棟冷温水機燃焼関係部品交換 66,150円 ・給食室扉修繕 23,520円 ・屋外漏水修繕 271,402円 		なし	
ほか 7件 (合計 1,380,797円)		(5) 個別計画の概要	
		計画名なし	
		計画年次 年度~ 年度	

4 評価指標

指標名			
指標式			
指標設定の意図			

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標			a	b		
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	1,804	1,701	1,381	1,770	1,600
	人員・時間数	26.0時間	26.0時間	30.0時間	30.0時間	30.0時間
	人件費	109	109	126	126	126
	その他経費					
	合計	1,913	1,810	1,507	1,896	1,726
特定財源	0	0	0	0	0	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 =
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%>)	

$\frac{a}{b} \times 100 =$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
----------------------------	----------------------------	----------------------------

理由 :	適切な維持補修に努めている。
------	----------------

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A : 適応している	理由 : 施設を維持していく上で、必要不可欠な事業である。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 : 予算の範囲内で原状復帰を目的とした必要最小限の修繕を行っており、妥当と言える。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 B ▼	A : 代替の可能性ない	理由 : 修繕対応を含めた施設の総合管理を民間業者に委託する方法がないとは言えないが、経費面や管理責任面での課題があり、市が実施することが適当である。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 B ▼	A : 満足できる	理由 : 施設の老朽化に伴い、外観や使い勝手が悪くなる度合いが増しているが、予算との兼ね合いで、修繕が実施されない部分が積み残されることが経常化する傾向があり、利用者の満足が十分得られているとは言い難い。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A : 有効である	理由 : 療育体制の整備と療育の充実を図る上で、建物等の施設は必要不可欠であることから、施設を維持するための補修(修繕)は当然有効である。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 主に、安全性・機能性の確保及び施設の延命を図る上で最小限の修繕を実施している。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 緊急度の比較的低い要修繕箇所については、同種工事がある程度まとめて発注することにより、経費の節減を図ることが可能である。</p>

7 総合評価

評価 A ▼	他自治体の類似事業との比較	説明 施設の老朽化が進んでいるため、今後も適切な維持補修の対策が必要である。また、屋上防水工事や全体的な内装工事等比較的大規模な改修工事についても、計画的に行っていく必要がある。
	今後の進め方	
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了	

8 二次評価における変更点

--